

令和 7 年度 事業報告

今年度は昨年に続き、事業計画通りの主催競技会 8 回を開催することができました。

【令和 7 年度 公益目的事業の概要】

国民スポーツ大会近畿ブロック大会は奈良県馬術協会の主管にて、6 月にクレインオリンピックパークにて開催され、綜合成績第 1 位を獲得、“わた SHIGA 輝く国スポ 2025” に選手を派遣しました。滋賀国スポでは天皇杯第 2 位、皇后杯第 4 位の好成績をおさめました。

第 79 回兵庫県民大会は全国乗馬クラブ振興協会と共催で引退競走馬の競技会（RRC）の障害飛越・馬場馬術競技を実施致しました。

第 50 回兵庫県親善大会においては昨年に続き、独立行政法人日本スポーツ振興センターよりくじ助成を受け、優秀馬飼育奨励金を充実させました。

外国からの役員は障害飛越競技に韓国より KIM Dong-whan、香港より H0 Jennifer を招聘することができました。

3 月には FEI 障害スチュワード（更新）の講習会を開催しました。

近畿地区審判・指導者講習会を 2 月に実施し、近畿地区以外からの多数の受講者も得ました。

I、公益目的事業の実績

1、主催競技開催事業

全国の乗馬愛好家（熟練者から初心者まで）を対象に、参加者から参加料、馬参加料を徴収して、年間 8 回の競技会を開催している。競技は、人馬の競技力向上を目的とする日本馬術連盟公認競技（以下公認競技という）と若馬の調教、初心者の登竜門、生涯スポーツとしての馬術愛好家を対象とした、公認競技よりややレベルの低い非公認競技の両方を実施している。また乗馬の普及、馬術への興味を拓げるために観戦は自由（無料）にしている。

[内容]

開催場所 三木ホースランドパーク

参加資格 特になし、公認競技参加は日本馬術連盟の騎乗者規定による。

参加料 1 エントリー 9,000～13,000 円、馬参加料 1 頭につき 11,000 円

褒 賞 各競技上位 3 位までには特製メダル、入賞馬（エントリー数の 25

パーセント)には馬リボンを贈る。公認競技には優秀馬奨励金として 13,503,000 円を贈る。

令和 7 年度開催

「第 52 回 近畿馬術大会 馬場馬術競技会 (公認)」

期日：令和 7 年 5 月 10 日～11 日

参加：102 頭・123 人・276 鞍

公認競技数：21 種目

非公認競技数：6 種目

「第 52 回 近畿馬術大会 障害飛越競技会 (3 ☆)」

期日：令和 7 年 5 月 22 日～25 日

参加：166 頭・139 人・496 鞍

公認競技数：15 種目

非公認競技数：0 種目

「第 79 回 兵庫県民馬術大会」

期日：令和 7 年 7 月 11 日～13 日

参加：183 頭・250 人・523 鞍

公認競技数：5 種目

非公認競技数：20 種目

「第 50 回 兵庫県親善馬術大会 馬場馬術競技会 (公認)」

期日：令和 7 年 10 月 24 日～26 日

参加：100 頭・130 人・300 鞍

公認競技数：16 種目

非公認競技数：8 種目

「第 50 回 兵庫県親善馬術大会 障害飛越競技会 (4 ☆)」

期日：令和 7 年 11 月 28 日～30 日

参加：158 頭・122 人・518 鞍

公認競技数：15 種目

非公認競技数：3 種目

「第 51 回 兵庫県新春馬術大会 (☆)」

期日：令和 8 年 1 月 10 日～11 日

参加：186 頭・242 鞍・582 鞍

公認競技数：6 種目

非公認競技数：22 種目

「ひょうごスプリングホースショー2026 馬場馬術競技会（公認）」

期日：令和8年2月28日～3月1日

参加：122頭・122人・322鞍

公認競技数：17種目

非公認競技数8種目

「ひょうごスプリングホースショー2026 障害飛越競技会（3☆）」

期日：令和8年3月12日～15日

参加：200頭・173人・695鞍

公認競技数：15種目

非公認競技数：2種目

2、講習会等開催事業

隔年ごとに、日本馬術連盟公認審判員資格取得及び資格維持並びに日本スポーツ協会の競技別（馬術）指導者資格維持に必須な講習会を開催し、当県馬連だけでなく近畿地区の審判員の技量の劣化防止、新知識の導入、同時に審判員を希望する新規審判員の養成を担う。この講習会を通じて、競技会に必要な公正・優良な審判員他役員の確保に努めている。

講習内容 日本馬術連盟の講師資格者（馬場馬術競技と障害飛越競技と総合馬術競技の3名）による、講義を2日間にわたって行う。新規資格取得及び昇格者は、最終日に筆記テストを行い合否が決まる。

令和7年度開催

「FEI 障害スチュワード更新講習会」

期日：令和7年3月20日

場所：ホテルオークラ

参加： 16 名

「令和7年度近畿地区審判・指導者講習会」

期日：令和7年2月7日～8日

場所：三宮センタープラザ

参加： 50 名

3、国スポ強化育成派遣事業

兵庫県の馬術の競技力を向上させ、最終的には、国民スポーツ大会において好成績を上げることが目的として、人馬の育成強化のための練習会を実施、指定競技会の成績を踏まえた選考、本国スポへの選手派遣の一連の事業を行っている。

ア 応募資格：日本スポーツ協会の国スポ参加基準を満たしていることを前提に、成人は馬匹を携行して強化練習に参加できること。国スポ出場資格を得れば、少年選手を、携行した馬に騎乗させなければならないことを承知した者。年初に県内の全乗馬団体への通知により国スポ出場希望者を募集している。

イ 合同練習会：県外指導者を招き、実技に重点を置いた強化練習を行う。

ウ ブロック大会出場者の選考、派遣：ブロック大会（国スポの近畿地区予選）出場者は、人馬選考の要項に従い、指定競技会の成績上位者を原則として選ぶが、少年選手の出場権もあるため、選考委員会（会長、副会長、理事長、強化委員長で構成）で最終的に8頭8名（監督含む）を選ぶ。

エ 本国スポ派遣：派遣枠（頭数、種目）は、ブロック大会の成績に基づき、ブロック大会終了後直ちに近畿6府県馬術連盟で会議を開き、規定（日体スポ協で決めている）に従って枠取りを行う。

ブロック大会1位7頭、2位5頭 3位3頭、4，5位は各2頭，6位1頭が割り当てである。

また、本国スポへの派遣者は、上述の選考委員会を開催して決めている。

令和7年度開催

「国体選手強化事業（三木ホースランドパークにて）
県外指導者招聘（中野義弘氏2回）、強化練習を実施」

期日：7月26・27日

参加：選手5名

期日：10月11・12日

参加：選手5名

「ゴールデンエイジ乗馬教室の開催」

2月の祝日（11日・23日）に2日間開催し、参加者合計5名

近畿ブロック大会（奈良県担当）

期日：6月

競技数：8競技

人数：8人

馬：8頭

国スポ（滋賀）

競技数：18 競技

人数：10 名

馬：6 頭

（財源等）

主催事業は参加料、講習会は会費、国スポ強化育成派遣事業は県スポーツ協会からの助成金を主な財源とする。

Ⅱ、会員の状況

	正会員数	成年会員数	少年会員数	賛助会員	日馬連登録会員数
令和7年	38	277	30	10+12	308
参考（8年）	38	258	27	10+10	285

（内訳：団体＋個人）

Ⅲ、会議

評議員会は令和7年6月26日と令和8年3月16日の2回実施。

理事会は令和7年6月4日と9月8日、令和8年2月25日の3回開催しました。

Ⅳ、その他の事業

令和7年7月に開催された関西学生馬術連盟主催の学生馬術大会に協賛しました。

令和8年3月28日・29日、志方西部乗馬倶楽部主催の第45回加古川親善馬術大会に協賛し、審判員を派遣しました。

また、高校生の全国大会予選、新人戦に審判を派遣しました。

Ⅴ、役員(令和8年3月31日現在)

評議員（任期4年：令和10年迄）

三木基司・宮井智秀・斎藤興治・松井洋平・平田康雄
中込治・田中臣光・石田行司・本多倫子 9名

理事（任期2年：令和8年迄）

三木則夫 代表理事（会長）
平山一哉・平井友和（以上副会長）
山崎由紀子 代表理事（理事長）

稗田龍馬・金川裕・川崎正人・厚田太加志・市橋知瑳 9名

監事（任期4年：令和10年迄）

尾崎伸・岡本正義 2名